

(様式1)

校番	高 4
----	-----

平成29年 7月18日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立広島工業高等学校 定時制

校長名 荒 木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定手順(報告)

月日(曜日)	選定手順の内容
5月31日(水)	<ul style="list-style-type: none">平成30年度使用高等学校用教科用図書採択事務説明会に出席する。校長は校内における平成30年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「平成30年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。調査員を任命する。選定委員会において、教科用図書選定が公正かつ適正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。
6月9日(金)	
6月12日(月)	<ul style="list-style-type: none">選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。調査員は選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。
6月12日(月)～	
6月30日(金)	<ul style="list-style-type: none">調査員は調査結果を選定委員に報告する。選定委員会を開催し、平成30年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。
7月11日(火)	
7月14日(金)	<ul style="list-style-type: none">校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成30年度使用教科用図書申請書を作成する。校長は、広島市教育委員会へ、平成30年度使用教科用図書申請書を提出する。
7月18日(火)	

(様式2)

校番	高 4
----	-----

平成29年 7月18日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立広島工業高等学校(定時制)

校長名 荒 木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

1 学校の特色

本校は、平成25年度に生産技術科・建設技術科を工業技術科に学科改編し、平成28年度に完成年度を迎えた単位制高校である。2年次からは、機械・電気・建設の3つのコースに分かれ、生徒の興味関心に合わせた学習を行っている。

また、1日の授業時間を増やし、卒業に必要な単位を修得すれば三年間で卒業することも可能としている。二学期制を導入し、学期ごとに単位認定を行うため、前期卒業も可能としている。

2 生徒の実態

本校には、勤労青少年や高等学校を退学して再び入学する生徒、中学校時代に不登校傾向のあった生徒など、様々な事情や背景を持った生徒が在籍している。そのため、基礎的な学力の定着が不十分な生徒や、コミュニケーションを取ることに課題がある生徒など、学び直しや他者との交流についての支援が必要な生徒も少なくない。


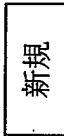
また、工業教育に興味を持ち、工業教科について意欲的に取り組む生徒が多く在籍している一方で、あまり興味を持たずに入学する生徒も複数在籍している。

3 調査の観点及び視点

	観点	視点
①	基礎基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述
②	学習方法の工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 新規で選定した教科書は「新規の選定」欄に「新規」と記載すること。
* 「新規」と記載するものうち、 は新規の申請、 新規 は改訂版とする。
- 3 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 4 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 5 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

平成29年 7月 14日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
②	国語	国語総合		183 第一	国総 362	高等学校 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	大型判で活字が読みやすく、生徒が使いやすい作りとなっている。読書に対する興味・関心を高めるため、表紙見返しの口絵に「読書のしるべ」を掲載している。
						新編国語総合							
3	国語	国語表現	新規	50 大修館 183 第一	国表 307 国表 308	国語表現 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の基礎基本の定着を図ることができよう、巻頭資料として表現を豊かにすることを目的とした索引「教科書を活用しよう」を設けている。
						高等学校 改訂版	○	◎	○	○	○		
4	国語	国語表現	新規	50 大修館 183 第一	国表 307 国表 308	国語表現 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の基礎基本の定着を図ることができよう、巻頭資料として表現を豊かにすることを目的とした索引「教科書を活用しよう」を設けている。
						高等学校 改訂版	○	◎	○	○	○		
3 4	国語	現代文A	新規	183 第一 50 大修館	現A 307 現A 304	高等学校 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めるため、巻頭に「読書のしるべ」を掲載し、読み比べの言語活動を設定している。
						新編現代文A							
3	地理 歴史	世界史A	新規	81 山川 81 山川	世A 315 世A 318	現代の世界史 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	学習の見通しを持たせることができ、各章の開始にその章で学習する内容をポイントを絞ったわかりやすい文章で示している。
						要説世界史 改訂版	◎	◎	○	○	○		
③	地理 歴史	世界史A		46 帝国	地図 307	地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができ、各章の開始にその章で学習する内容をポイントを絞ったわかりやすい文章で示している。

校番 高4

平成29年 7月 14日

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その2)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
2	地理歴史	日本史A	新規	81 山川	日A 314	現代の日本史 改訂版	◎	○	◎	◎	◎	学習の見通しを持たせることができるよう、各章の始めにその章で学習する内容をポイントを絞ったわかりやすい文章で示している。
				7 実教	日A 313	新日本史A 新訂版	◎	○	○	○	◎	
②	地理歴史	日本史A		46 帝国	地図 307	地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味・関心を高めることができるよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。
2	地理歴史	地理A		46 帝国	地A 308	高等学校 新地理A	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の地理的スキルを高められるよう、雨温図の見方や写真の読み取り方、等を示す「技能をみがく」を適宜設けている。
				35 清水	地A 311	高等学校 新地理A 新訂版	◎	○	○	○	○	
②	地理歴史	地理A		46 帝国	地図 307	地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味・関心を高めることができるよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。
4	地理歴史	地理A		46 帝国	地A 308	高等学校 新地理A	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の地理的スキルを高められるよう、雨温図の見方や写真の読み取り方、等を示す「技能をみがく」を適宜設けている。
				35 清水	地A 311	高等学校 現代地理A 最新版	◎	○	○	○	○	
④	地理歴史	地理A		46 帝国	地図 307	地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味・関心を高めることができるよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その3)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動		
3 4	公民	政治・経済	新規	2 東書	政経 311	政治・経済	◎	○	◎	◎	◎	選定	生徒の基礎基本の定着を図るため、各節で学習したことをまとめるための課題「節のまとめ」を設けている。
				35 清水	政経 314	高等学校 現代政治・経済 新訂版	○	○	◎	◎	◎	◎	
③	公民	政治・経済		46 帝国	地図 307	地歴高等学校 現代政治・経済 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。
④	公民	政治・経済		46 帝国	地図 307	地歴高等学校 現代政治・経済 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。
②	数学	数学 I		2 東書	数 I 319	改訂 新数学 I	◎	○	◎	◎	○	選定	学習内容の定着を確認しながら見通しを持って学習に取り組むことができよう、各章のまとめを掲載している。
2	数学	数学 A		2 東書	数 A 319	改訂 新数学 A	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることは加えて「章」のまとめを記載している。
				7 実教	数 A 323	高校数学 A 新訂版	◎	○	◎	◎	○	○	
4	数学	数学 A		2 東書	数 A 319	改訂 新数学 A	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることは加えて「章」のまとめを記載している。
				7 実教	数 A 323	高校数学 A 新訂版	◎	○	◎	◎	○	○	

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	数学	数学B		104 数研	数B 313	新 高校の数学B	◎	○	◎	◎	○	選定	目標を明確にして学習に取り組むことができれば、各項目のはじめに学習する内容を示している。
				2 東書	数B 302	新編数学B	◎	○	○	○	○		
3	数学	数学活用		7 実教	数活 301	数学活用	◎	○	◎	◎	○	選定	生徒が興味・関心を持てるよう、身近な事例を多く扱っている。また、学習内容を活用し、より深く理解することができるよう、適宜、「課題」を設けている。
				61 啓林館	数活 302	数学活用	◎	○	○	○	○		
4	数学	数学活用		7 実教	数活 301	数学活用	◎	○	◎	◎	○	選定	生徒が興味・関心を持てるよう、身近な事例を多く扱っている。また、学習内容を活用し、より深く理解することができるよう、適宜、「課題」を設けている。
				61 啓林館	数活 302	数学活用	◎	○	○	○	○		
2	理科	物理基礎		2 東書	物基 312	改訂 新編物理基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、学習する内容について意の冒頭に、メモ欄「学習前」「学習後」を設け、小單元ごとに例題や問による問題演習を設定している。
				7 実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	○	◎	○	◎	○		
3 4	理科	化学基礎		2 東書	化基 314	改訂 新編化学基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、草ごとに「まとめ」と章末確認テストを掲載している。
				104 数研	化基 320	改訂版 新編 化学基礎	○	◎	○	◎	○		
②	保健体育	保健		183 第一	保体 306	高等学校 改訂版 保健体育	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高め、実生活との関連を図るため、各所に「コラム」(「保健編は生活最前線」)、「体育編はスポーツ最前線」)を設けている。

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その5)

学年	教科名	科目名	新編の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			音読活動
3	芸術	書道 I		17 教出	書 I 307	新編 書道 I	◎	○	◎	◎	◎	選定	学習活動や学習過程について理解が進むよう、段階や活動場面を示す写真を多用している。
				38 光村	書 I 308	書 I	◎	○	◎	○			
④	芸術	書道 I		17 教出	書 I 307	新編 書道 I	◎	○	◎	◎	◎	選定	学習活動や学習過程について理解が進むよう、段階や活動場面を示す写真を多用している。
②	外国語	コミュニケーション英語 I		104 数研	コ I 344	Revised COMET English Communication I	◎	◎	○	○		選定	生徒が段階的に学習し、基礎基本の定着を図ることができるよう、1レッスンの単語数を70語程度から徐々に増やすしている。
3	外国語	英語表現 I		15 三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition	◎	◎	◎	○		選定	英制など、基礎基本を定着させ、英語での表現力を育成することができるよう、「場面Go!」を各レッスンに配置するとともに、「つなぎ言葉ランキング」を設けている。
				183 第一	英 I 337	Vivid English Expression I NEW EDITION	○	○	○	○			
2	外国語	英語会話		15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	◎	◎	◎	◎		選定	表現の理解が深まるよう、インタビュアーやロールプレイなど、使用場面を意識した言語活動を設けている。
				2 東書	英会 301	Hello there! English Conversation	◎	◎	○	○			
4	外国語	英語会話		15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	◎	◎	◎	◎		選定	表現の理解が深まるよう、インタビュアーやロールプレイなど、使用場面を意識した言語活動を設けている。
				2 東書	英会 301	Hello there! English Conversation	◎	◎	○	○			

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その6)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	家庭	家庭基礎		2 東書	家基 311	家庭基礎 自立・共生・創造	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎基本の確実な定着を図ることができよう、小・中学校で学習した内容と高等学校で学習する内容の関連を示した「小学校、中学校の学習とのつながり」のページを設けている。発展的な学習に繋げることができよう、課題解決の道筋をチャートで示している。
				50 大修館	家基 319	未来をつくる 新高校家庭基礎	○	◎	○	○	○	○	
3 4	家庭	フードデザイン	新規	6 教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、実習のカラー写真、イラストなどを多数掲載している。
				7 実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	◎	○	○	○	○	○	
4	家庭	調理	新規	6 教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、実習のカラー写真、イラストなどを多数掲載している。
				7 実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	◎	○	○	○	○	○	
2	工業 (共通)	デザイン 技術		201 海文堂	工業 344	デザイン技術	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭に写真や絵を設けている。
③	工業 (共通)	デザイン 技術		201 海文堂	工業 344	デザイン技術	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭に写真や絵を設けている。
②	工業 (機械)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるとともに、基礎基本の定着を図ることができよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。

校番	高4
----	----

広島市教育長 様
(学校教育指第二課)

平成29年 7月 14日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その7)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
③	工業 (機械)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味・関心を高めるとともに、基礎基本の定着を図ることとできさるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (機械)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	◎	◎	◎	生徒の興味・関心を高めるとともに、基礎基本の定着を図ることとできさるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
2	工業 (機械)	製図		7 実教	工業 307	製図	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることができるとともに、製図の基礎、電気、建築に関する内容を記載している。
						機械製図	◎	◎	◎	◎	◎	
②	工業 (機械)	製図		7 実教	工業 307	製図	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることができるとともに、製図の基礎、電気、建築に関する内容を記載している。
③	工業 (機械)	製図		7 実教	工業 307	製図	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることができるとともに、製図の基礎、電気、建築に関する内容を記載している。
③ ④	工業 (機械)	情報技術 基礎		7 実教	工業 309	情報技術基礎	◎	◎	◎	◎	◎	生徒が主体的に学習できるとともに、各節ごとに学習のねらいを明確に示している。またカラー写真や絵を分かりやすく掲載している。

校番 高4

平成29年 7月 14日

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その8)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	習熟活動		
3 4	工業 (機械)	材料技術 基礎		7 実教	工業 340	工業材料	○	◎	◎	○	○	選定	環境問題と関係して学習を行うことが できよう、環境に関する内容を 記載している。
3	工業 (機械)	生産システム技術		7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができる よう、公式を適切に表記している。 また、興味・関心を高めることが できよう、コラムや単位の由来の 説明を掲載している。	
4	工業 (機械)	生産システム技術		7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができる よう、公式を適切に表記している。 また、興味・関心を高めることが できよう、コラムや単位の由来の 説明を掲載している。	
2	工業 (機械)	機械工作		7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができる よう、各章の節を多く設け、学習 内容を詳しく解説している。	
③	工業 (機械)	機械工作		7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができる よう、各章の節を多く設け、学習 内容を詳しく解説している。	
④	工業 (機械)	機械工作		7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができる よう、各章の節を多く設け、学習 内容を詳しく解説している。	

広島市教育長 様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その9)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
2	工業 (機械)	機械設計		7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることで、練習問題を多く設けることができる。また、単位や量記号を分けており、やすく表記している。
				7 実教	工業 318	新機械設計	◎	◎	◎	◎	◎	
4	工業 (機械)	機械設計		7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることで、練習問題を多く設けることができる。また、単位や量記号を分けており、やすく表記している。
				7 実教	工業 318	新機械設計	◎	◎	◎	◎	◎	
3 4	工業 (機械)	機械設計		7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることで、練習問題を多く設けることができる。また、単位や量記号を分けており、やすく表記している。
				7 実教	工業 318	新機械設計	◎	◎	◎	◎	◎	
③	工業 (機械)	機械設計		7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	◎	◎	◎	基礎基本の定着を図ることで、練習問題を多く設けることができる。また、単位や量記号を分けており、やすく表記している。
				7 実教	工業 318	新機械設計	◎	◎	◎	◎	◎	
2	工業 (機械)	原動機		7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	◎	◎	専門的な学習内容について、理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械についても詳しく解説している。
				7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	◎	◎	
4	工業 (機械)	原動機		7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	◎	◎	専門的な学習内容について、理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械についても詳しく解説している。
				7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	◎	◎	

広島市教育長 様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その10)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (機械)	原動機		7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械についても詳しく解説している。
③	工業 (機械)	原動機		7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械についても詳しく解説している。
②	工業 (電気)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところとものに、基礎基本の定着を図ることができ、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
③	工業 (電気)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところとものに、基礎基本の定着を図ることができ、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (電気)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところとものに、基礎基本の定着を図ることができ、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
2	工業 (電気)	製図		7 実教	工業 303	電気製図	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができ、各単元のねらい等を示している。また、電気・電子に関する図記号を表示している。
				7 実教	工業 307	製図	◎	◎	○	◎	○		

広島市教育長 様
 (学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その11)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
2	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 388	電気基礎1 新訂版	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができ るよう、各章の節の項目を多く設 け、章全体を通して、詳しく説明し ている。
				7 実教	工業 390	精選電気基礎 新訂版	○	○	◎	○		
2	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 389	電気基礎2 新訂版	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができ るよう、各章の節の項目を多く設 け、章全体を通して、詳しく説明し ている。
				7 実教	工業 390	精選電気基礎 新訂版	○	○	◎	○		
③ ④	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 388	電気基礎1 新訂版	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができ るよう、見返しに単位・図記号を掲 載している。また、例題や問題を適 宜設けている。
③ ④	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 389	電気基礎2 新訂版	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができ るよう、見返しに単位・図記号を掲 載している。また、例題や問題を適 宜設けている。
3	工業 (電気)	電気機器		154 オーム	工業 349	電気機器	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができ るよう、節の始めに学習のポイント を示している。また、電気機器で学 ぶ重要な公式を示している
				7 実教	工業 391	電気機器 新訂版	○	◎	○	○		
3 ④	工業 (電気)	電気機器		154 オーム	工業 349	電気機器	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができ るよう、節の始めに学習のポイント を示している。また、電気機器で学 ぶ重要な公式を示している
				7 実教	工業 391	電気機器 新訂版	○	◎	○	○		

校番 高4

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

平成29年 7月 14日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その12)

学年	教科名	科目名	新編の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (電気)	電力技術	新規	7 実教	工業 392	電力技術1 新訂版	◎	○	◎	○	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができ よう。「節末問題」を掲載してい る。また、課題解決的な学習がで きるよう、各章末に「まとめ」と「章 末問題」を掲載している。
				154 オーム	工業 352	電力技術1	○	○	◎	○	○	○	
2	工業 (電気)	電力技術	新規	7 実教	工業 393	電力技術2 新訂版	◎	○	◎	○	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができ よう。適宜問と例題を掲載してい る。また、課題解決的な学習がで きるよう、各章末に「まとめ」と「章 末問題」を掲載している。
				154 オーム	工業 353	電力技術2	○	○	◎	○	○	○	
③	工業 (電気)	電力技術		7 実教	工業 350	電力技術1 電力の発生と輸送	○	◎	◎	◎	◎	選定	課題解決な学習ができるよう、節末 問題や章末問題を掲載している。
③	工業 (電気)	電力技術		7 実教	工業 351	電力技術2 電力の利用と制御	○	◎	◎	◎	◎	選定	見通しをもって学習することができ るよう、章で学ぶ内容や章のまとめ を掲載している。
4	工業 (電気)	電力技術	新規	7 実教	工業 392	電力技術1 新訂版	◎	○	◎	○	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができ よう。「節末問題」を掲載してい る。また、課題解決的な学習がで きるよう、各章末に「まとめ」と「章 末問題」を掲載している。
				154 オーム	工業 352	電力技術1	○	○	◎	○	○	○	
4	工業 (電気)	電力技術	新規	7 実教	工業 393	電力技術2 新訂版	◎	○	◎	○	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができ よう。適宜問と例題を掲載してい る。また、課題解決的な学習がで きるよう、各章末に「まとめ」と「章 末問題」を掲載している。
				154 オーム	工業 353	電力技術2	○	○	◎	○	○	○	

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その13)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (電気)	電子回路	新規	7 実教	工業 395	電子回路 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	見通しを持って学習することができるよう、「この章で学ぶこと」を設けている。また、基礎基本の定着を図ることができよう。また、基礎基本の定着を図る問題掲載している。
				174 コロナ	工業 357	電子回路	○	◎	○	○	○	○	
3 4	工業 (電気)	電子計測 制御		7 実教	工業 358	電子計測制御	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができよう。各章ごとに学ぶ内容を明確に示し、まとめを掲載している。
2	工業 (電気)	通信技術		7 実教	工業 374	通信技術	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができよう。電話やテレビ・オーディオ装置などの図を多く掲載している。
3	工業 (電気)	ソフトウェア 技術		7 実教	工業 361	ソフトウェア技術	○	◎	○	◎	○	選定	ソフトウェアの機能と操作に関する学習を深めることができよう。節ごとに学習する内容を記載している。
4	工業 (電気)	ソフトウェア 技術		7 実教	工業 361	ソフトウェア技術	○	◎	○	◎	○	選定	ソフトウェアの機能と操作に関する学習を深めることができよう。節ごとに学習する内容を記載している。
②	工業 (建設)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるとともに、基礎基本の定着を図ることができよう。事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。

校番	高4
----	----

広島市教育長様
 (学校教育指第二課)

平成29年 7月 14日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その14)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動		
③	工業 (建設)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところととも に、基礎基本の定着を図ることがで きるよう、事例を記載している。ま また、イラストなどの資料を多く掲載 している。
2	工業 (建設)	製図		7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところがで きるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲 載し、本文に製図例を大きく示して いる。
③	工業 (建設)	製図		7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところがで きるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲 載し、本文に製図例を大きく示して いる。
4	工業 (建設)	製図		7 実教	工業 306	土木製図	◎	◎	◎	◎	○	選定	土木構造物について学習できるよ う、製図方法や例題を掲載してい る。
2	工業 (建設)	建築構造		7 実教	工業 334	建築構造	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができ るよう、構造の違う建物のカラー写 真を掲載し、章で学ぶ内容を明確に表 記している。
3 4	工業 (建設)	建築計画		7 実教	工業 362	建築計画	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるところがで きるよう、コラムやカラー写真を掲 載している。

校番 高4

平成29年 7月 14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その15)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (建設)	建築施工		7 実教	工業 376	建築施工	○	◎	○	◎	○	選定	施工に携わる人々の仕事と工事の流れを学習できるよう、写真を多く掲載している。また、工事で使用する建設機械を掲載している。
3	工業 (建設)	建築法規		7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容について、詳しく学習できるよう、法令用語の解説を掲載している。また章ごとに練習問題を設けている。
4	工業 (建設)	建築法規		7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容について、詳しく学習できるよう、法令用語の解説を掲載している。また章ごとに練習問題を設けている。
3	工業 (建設)	測量		7 実教	工業 335	測量	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、測量の技法をイラストや写真で分かりやすく説明している。
④	工業 (建設)	測量		7 実教	工業 335	測量	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、測量の技法をイラストや写真で分かりやすく説明している。
2	工業 (建設)	土木基礎力学		7 実教	工業 364	土木基礎力学1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、基本となる公式を明確に示している。

校番 高4

平成29年 7月 14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その16)

学年	教科名	科目名	新刊の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動		
4	工業 (建設)	土木基礎力学		7 実教	工業 364	土木基礎力学1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができよう、基本となる公式を明確に示している。
2	工業 (建設)	土木構造設計		7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができれば、巻頭に構造物のカラー写真と学習のねらいを示している。
3 4	工業 (建設)	土木構造設計		7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができれば、巻頭に構造物のカラー写真と学習のねらいを示している。
③	工業 (建設)	土木構造設計		7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができれば、巻頭に構造物のカラー写真と学習のねらいを示している。
3 4	工業 (建設)	土木施工		7 実教	工業 366	土木施工	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができれば、巻頭にカラー写真や挿絵を豊富に掲載している。
4	工業 (建設)	土木施工		7 実教	工業 366	土木施工	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができれば、巻頭にカラー写真や挿絵を豊富に掲載している。

校番	高4
----	----

平成29年 7月 14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成30年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その17)

学年	教科名	科目名	新編の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	工業 (建設)	社会基盤 工学		7 実教	工業 379	社会基盤工学	○	◎	◎	◎	○	選定	社会基盤の学習内容を深めることができよう、「LINK」により、関連する項目や用語の解説を掲載している。

(様式4)

広島市立広島工業高等学校（定時制）平成30年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校（以下「学校」という。）において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立広島工業高等学校（定時制）平成30年度使用教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員6人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の校長・教頭・事務長・教務主任
 - (2) 保護者代表、学校協力者会議委員、学識経験者等
- 2 委員の任命及び委嘱は校長が行う
 - 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の8月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、校長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立広島工業高等学校（定時制）において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成29年6月9日から施行する。